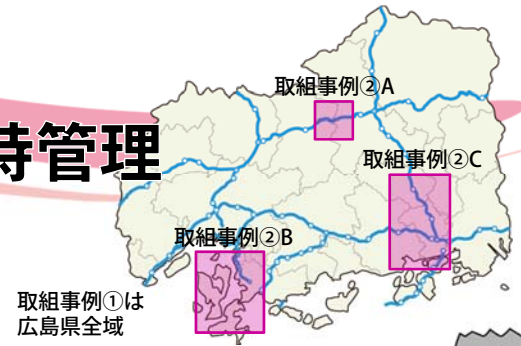


取組事例
施策 7

道路施設の適正な維持管理



① 取組事例 道路施設の日常的な維持管理の適切な実施

草刈や除雪などの日常的な維持管理を適切に実施し、地域住民の生活を守ります。アダプト活動等により地域全体で道路環境の保全と創造を図ります。



道路延長は県全体で約4,200kmにも及びます。これらの道路を日々パトロールすることにより、倒木や落石などの異常を早期に発見し、対応することで交通の安全確保に努めます。また、年間を通して、草刈や、除雪等を適切に実施し、道路の維持管理を行っています。



アダプト活動～地域と共同で行う道路環境の保全～

春になると、東広島・呉自動車道の郷原に近くの県道沿いに、1km以上にわたって、見事なシバザクラのじゅうたんが広がります。これは、平成24年から地元のアダプト団体「郷原第4区マイロード」により実施されている活動で、地元の小学校とも連携し、清掃やシバザクラの育成など、道路の美装に取り組んでいただいております。



② 取組事例 道路施設の戦略的な維持管理の推進～インフラ老朽化対策の本格実施～

橋梁やトンネルなどの道路施設について、点検結果に基づき適切な対策を行うことで、長寿命化を図り、県民が安心かつ快適に道路を利用できる環境を整えます。



A. (国) 433号 式敷大橋 (安芸高田市高宮町字式敷～三次市作木町香淀)



式敷大橋は、安芸高田市と三次市との市境にあり、旧高宮町と三次市作木町を結ぶ幹線道路上の橋梁です。点検により、上部工の塗装劣化や橋脚のひび割れ等が確認されたため、橋梁補修工事を実施します。



橋梁概要

架設年度	昭和41年 (1966年)
橋長	151m
幅員	6.6m
形式	3径間連続トラス橋



B. (国) 487号 早瀬大橋 (呉市音戸町早瀬～江田島市大柿町大君)

早瀬大橋は、呉市音戸町と江田島市大柿町を結ぶ渡海橋で、災害時の緊急輸送道路にも位置付けられており、これまでも橋脚の耐震補強工事や補修工事を実施してきました。今後は、上部工の耐震補強工事を実施するとともに、点検により確認された上部工の塗装劣化等の損傷について、橋梁補修工事を実施します。



橋梁概要

架設年度	昭和48年 (1973年)
橋長	623.5m
幅員	10.1m
形式	3径間連続トラス橋



上部工の塗装劣化



C. (国) 184号 畑トンネル, 御調トンネル (三原市御調町)



畑トンネル, 御調トンネルは、尾道市から三次市を経由し、出雲市へ連絡する国道184号上のトンネルです。

点検により、コンクリートの浮きや、漏水等が確認されたことから、トンネル補修工事を実施します。



トンネル概要

畑トンネル		御調トンネル	
竣工年度	昭和51年 (1976年)	竣工年度	昭和59年 (1984年)
延長	81.5m	延長	240.0m
幅員	8.85m	幅員	9.0m

